【御堂筋ｋａｐｐｏ２０１２臨時救護に参加して】

東６階病棟看護師　村上弘子

平成２４年１０月１４日、御堂筋ｋａｐｐｏに救護班として参加しました。当院からは呼吸器内科長野医師、集中治療部堀係長、会計課入江さんと私を含めた４名、他に高槻日赤より１班、支部職員、機動救助奉仕団員が参加しました。

このイベントは、一日限定で歩行者に開放された大阪のメインストリートである御堂筋の魅力を体感するお祭りで、物産展や音楽・パフォーマンス・スポーツなど、様々なチャレンジを応援する催しでした。

私たちの役割は、救護所内での診療や会場内に体調不良者や負傷者がいないか巡回し、該当者がいれば応急手当を行うことでした。イベント開始までに、事前に設営された救護所や診察道具を使用しやすいようにメンバー内で話し合い、レイアウトを直すなどしました。当日は外傷や熱中症を想定していましたが、曇り空でもあり、受診者は大阪日赤１件、高槻日赤４件で、幸いにも救急搬送もなく無事イベントは終了しました。

今回、私は救護班メンバーとして初めて参加しましたが、他の参加者は実際に救護員として活動経験があるスタッフが多く、自分がどのような動きをすべきか色々と教えていただき、学びの多い一日となりました。この経験が活かされるように、今後も積極的に様々な活動に参加していきたいと思います。

救護所内にて打ち合わせを行う救護員